

公安委員会定例会議(第26回)の開催状況

第1 日 時 令和3年10月13日(水)

午後1時30分 ～ 午後5時15分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、五葉委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 曾我部委員長説示

今日は、①新型コロナウイルス感染者数減少、②やり続けることの大事さの2点について思うところを述べます。

(1) 新型コロナウイルス感染者数は、全国的に減少を続けています。海外メディアも、「謎の激減」など取り上げており、故野村克也氏の座右の銘として話題になった随筆集「甲子夜話」の一節「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」を思い出しますが、今後想定される第六波に負けないようにするためにも、第五波の分析結果に基づき出される方針等をしっかりと守っていくことが大事と考えます。

(2) 愛媛県出身の気象学者真鍋淑郎氏のノーベル物理学賞受賞が決定しました。真鍋氏は、60年間、気象モデルの研究に没頭し、その解析手法の開発や、大気中の二酸化炭素濃度の増加が地球温暖化に与える影響の実証など、研究結果が認められての受賞となりました。

また、本田技研工業は、1980年代から小型ジェット機の開発に乗り出し、プロジェクト打ち切りの危機や、なかなか下りない認可など困難な状況の一つ一つ乗り越えて実用化しました。今では、小型ジェット機カテゴリーの出荷数が4年連続世界一となっています。

最近は、すぐに結果が出ないと、開発や研究をやめてしまう企業や大学が多いと感じますが、「これは大事」と判断したことは、あきらめずコツコツと続けていくことが大事と再認識いたしました。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和3年第25回公安委員会定例会議の会議録について伺いがありました承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情申出の受理について伺いがあり了承した。

(3) 運転免許取消処分に係る審理経過及び裁決

交通部から、運転免許取消処分に係る審理経過の報告及び裁決に関する伺いがあり了承した。

(4) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果19件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和3年9月定例県議会の開催結果

総務室長から、9月14日から10月6日までの23日間開催された、令和3年9月定例県議会の開催結果について報告があった。

(2) 特殊詐欺被害防止「愛媛のおせっかいになろうキャンペーン」の推進状況

生活安全部長から、伍代夏子特別防犯支援官の提案で開始し、10月19日で運用から1年を迎える、特殊詐欺被害防止「愛媛のおせっかいになろうキャンペーン」の推進状況（キャンペーンの実施状況、効果等）について報告があった。

委員から、「先般、高校生が特殊詐欺被害防止キャラクターを考案した旨報道されていたが、被害防止に向けた意識は、高齢者のみならず、幅広い層に浸透していると頼もしく感じた」、「この特殊詐欺被害防止に向けた意識を更に根付かせていくためにも、様々な取組を繰り返し実施していただきたい」との発言があった。

委員から、「引き続き、参加型の広報を行うなど、県民と一体感を持ちつつ特殊詐欺被害防止に努めていただきたい」との発言があった。

(3) 強盗致傷事件の検挙

刑事部長から、10月10日、八幡浜市内商業施設で発生した強盗致傷事件につき、翌11日に被疑者を逮捕した旨報告があった。

委員から、「被疑者の早期検挙に努めていただいた」との発言があった。

委員から、「商業施設の保安員には女性も多いが、このような危害を

加えられないために、よい方法はあるのか」との質問があり、刑事部長から「攻撃をかわす訓練を行っている施設もある」との回答があった。

(4) 集団暴走事件の検挙

交通部長から、令和3年5月及び6月に新居浜署管内で発生した、少年9人による道路交通法違反（共同危険行為等の禁止）事件の検挙について報告があった。

委員から、「追跡時の事故防止に十分配慮していただきたい」との発言があった。

委員から、「どのように少年を更正させていくか気になるところもあるが、検挙することで気付かせていくなど、警察にしかできない方法での更正も視野に入れつつ、業務にあたっていただきたい」との発言があった。

委員から、「20年前と比較して集団暴走もかなり減っているとは思いますが、引き続き、厳格な取り締まりに努めていただきたい」との発言があった。

(5) 航空隊による機動隊との合同救助訓練の実施

警備部長から、9月28日及び29日の2日間、東温市重信川河川敷で行われた、航空隊と機動隊による合同救助訓練（ホイスト揚収、降下訓練等）の概要等について報告があった。

委員から、「要救助者の迅速及び確実な救出のため、引き続き、錬度を高めていただきたい」との発言があった。

(6) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、令和3年9月末現在の苦情の受理及び処理状況に関する報告があった。

4 その他

(1) 交通部長から、10月9日及び10日に茨城県内で開催された全国白バイ安全運転競技大会の結果について報告があった。

(2) 本部長から、「新型コロナ対策では、科学的知見に基づく適切な行動をとることが重要と考えている」、「県警にも、様々な分野に精通した職員がおり、これら職員1人1人の経験や技術を結集させつつ、県民の安全安心の確保に努めていきたい」との発言があった。

(3) 曾我部委員の愛媛県公安委員会委員長としての任期が令和3年10月23日で満了となることから、次期委員長について委員が互選し、五葉委員

を選任した。任期は、令和3年10月24日から、令和4年10月23日までの1年間である。

また、愛媛県公安委員会運営規則に基づく、令和3年10月24日以降の委員長職務代理について委員が互選し、曾我部委員を選任した。

以 上